

益子焼窯元訪問・バスツアー

〈益子焼～「一焼、二土、三細工」の工夫の数々を学ぶ～〉

東工大（現東京科学大学）の窯業技術は、蔵前職工学校として開設以来、東京高等工業、東工大へと、その科学技術の伝統が引き継がれています。その中で著名な陶芸家も輩出しており、特に益子焼に関しては深いつながりを持っています。

そこで、今年は益子を見学先として、東工大OBの陶芸家・村田浩氏（S42、無機材料）の益子焼窯元を訪問し、土もみ、ろくろ成形、素焼き、絵付け、焼成の工程を見学します。特に「一焼、二土、三細工」の最重要“焼き工程”の自作のガス窯と登り窯の技術と経験から来る工夫の数々が見どころです。また、東京高等工業（東工大の前身）卒業の人間国宝で文化勲章受賞者、濱田庄司の記念益子参考館を見学します。

参考ページ：<https://www.titech.ac.jp/public-relations/outreach/stories/mashikoyaki>
https://www.cent.titech.ac.jp/DL/DL_Press/201210mashiko.pdf
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B9%B3%E9%87%8E%E8%80%95%E8%BC%94>
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%BF%B1%E7%94%B0%E5%BA%84%E5%8F%B8>

＜旅程(目安)＞

横浜駅東口 8:00発 → 益子焼窯元共販センター 11:00着（途中トイレ休憩）

村田浩氏窯見学 11:00～12:30（上記センターから歩きで片道15分程度含む）

昼食と懇談 12:30～13:30（センター内の食堂）

濱田庄司記念参考館見学 13:30から14:45（バス移動数分）

（参考：<https://mashiko-sankokan.net/>）

上記参考館 14:45発 → 横浜駅東口 18:00着（途中トイレ休憩）

注）＊集合は7:50厳守でお願いします。集合次第出発します。

＊長時間のバス移動となりますのでご了承ください。

＊駐車場から谷戸の窯元まで15分ほど歩いて往復しますので、ご了承下さい。

＊歩きやすい靴と汚れても構わない服装でご参加を推奨します。

＊当日の天候や交通事情により、旅程や見学場所が変更になる場合があります。

＊内容変更の場合は、神奈川県支部のホームページにてご連絡いたします。

集合について

場所：横浜駅東口（左図参照★）

横浜駅中央口を出て東口に向かい、ポルタ（地下街）へのエスカレーター右方向の階段を上ります。

付近に案内幹事がいます。

時間：7:50厳守でお願いします。

7:30より、幹事が待機しています。

備考：当日の緊急連絡は参加者にお知らせします。



見学先について

① 村田浩氏窯元

<村田浩氏のご紹介>

- ・昭和18年東京で生まれ、1歳で両親とともに益子へ
(父上は著名な陶芸家である村田元氏
：[村田元 \(益子焼の陶芸家\) - Wikipedia](#))
- ・昭和42年東工大、無機材料卒、一般企業の技術者を経て父親の村田元氏に師事
- ・昭和52年、父・元の家の際に細工場を建て登窯を築窯し独立益子焼の伝統的な釉薬・糠白釉による釉掛けにこだわり続け、鉄絵の絵付けは水墨画のような描きを表現している。現在は糠白釉を掛けた山帰来や白木蓮の絵付けを好んで描いている。
([村田浩 - Wikipedia](#)より)



村田浩さん(中央)



作品棚



登り窯 (現在は使用せず)



村田さん製作のオリジナル窯

② 濱田庄司記念参考館：<https://mashiko-sankokan.net/>



入口



内部の展示品

応募要領



定員：35人

参加費：5,000円(昼食、バス代含む)、蔵前カード提示者 4,500円

申込み締切：5月15日(木)

申込み方法：下記URLより申込みください。(4月1日以降)

<https://www.kanagawa.kuramae.or.jp/tour/>

問合せ先：神奈川県支部 問合せ窓口

<https://www.kanagawa.kuramae.or.jp/contact/>